

可児市地域公共交通網形成計画の中間評価について

1. 計画期間 令和元年度～令和8年度（令和元年7月策定）
2. 計画の目標

交通将来像

「また来たい ずっと住みたい まちの魅力を支える公共交通」

可児市地域公共交通網形成計画の目標と目標値

全体目標 「また来たい ずっと住みたい まちの魅力を支える公共交通」の実現
目標値 公共交通全体の利用者数の維持・増加
 公共交通の総合的な満足度の増加

基本方針Ⅰ 可児駅・新可児駅、西可児駅を中心とした公共交通ネットワークの維持を基本としつつ、高齢者の日常生活や若者の通学を支える、まちづくりや観光振興と連携した公共交通サービスの提供

目 標 利便性の高い公共交通ネットワークやサービスが充実
 目標値 公共交通を利用する割合の増加

基本方針Ⅱ 地区住民が日常生活の中で安心して利用でき、来訪者にもわかりやすい公共交通利用環境の充実

目 標 公共交通の利用のしやすさ・わかりやすさが向上
 目標値 公共交通の情報・案内のわかりやすさに関する満足度の増加

基本方針Ⅲ 可児市の公共交通に関わる全ての関係者が連携・協働し、公共交通を支え育む取り組みの推進

目 標 公共交通への関心や愛着が向上
 目標値 地域主体または地域と交通事業者や可児市が連携・協働した取り組みの実施

3. 計画の中間評価

【目的】

令和元年7月に、市内の多様な公共交通が相互に連携し、持続可能な公共交通網を構築するための「可児市地域公共交通網形成計画」を策定し、基本的な方針と各目標を定めた。本計画では、計画の期間内であっても必要に応じ見直しをすることとしている。

その後、令和2年度ごろから新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、外出自粛や公共交通を避けるような社会的な動きが現れ、また、高齢者の運転免許証の自主返納者が年々増えていることなど、公共交通を取り巻く環境は大きく変わり、今後の可児市における公共交通の見直しについても検討していく必要がある。

そこで、このような社会的な変化も含め、「可児市地域公共交通網形成計画」の中間評価を行うとともに、本計画の見直しを検討するものである。

【実施内容】

各種ニーズ調査

①公共交通に関する市民アンケート調査 資料 3-2

15歳以上の市民3,000人を対象としたアンケート

②利用者アンケート調査 資料 3-3 資料 3-4

さつきバス、電話で予約バス等各交通手段の利用者へアンケート

③上記①②で実施した各種ニーズ調査結果の集計・分析

4. 今後の方針

計画の進捗状況や目標の達成度を評価するとともに、必要に応じて計画の見直しを行っていく。

特に、運転免許証の自主返納者をはじめとした高齢者福祉等について、公共交通の役割について検討していく。